

馬が食べるとふらつくようになる木
— 馬酔木 —

馬酔木は「アセビ」と読みますが「アシビ」「アシミ」「アセボ」などと呼ばれることもあります。陶史の森内でも数多く生えています。

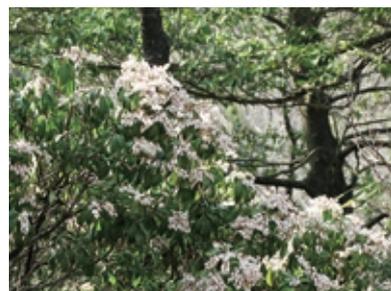
馬などの草食動物がアセビの葉や茎を食べるとまるでお酒に酔うようにふらつき、さらには昏睡状態に落ちることもあります。このことからアセビは「馬が酔う木（馬酔木）」と書くようです。多くの草食動物は、アセビを食べるのを避け、食べ残されます。そのため草食動物の多い地域ではアセビが目立って多くなることがあります。例えば、奈良公園ではシカが他の木を食べアセビを食べないために、他の木と比べて相対的にアセビが多くなっているといわれます。アセビは有毒植物なので、方言で「ウシコロシ」とか「ウマクワズ」「シカクワズ」ともいわれます。

そんな毒性のあるアセビですが、早春を彩る美しい樹木です。アセビは高さ数mになる常緑低木です。宮城県以南の本州、四国、九州に分布します。早春から釣り鐘型の花を咲かせ、春の到来を実感させる植物です。早春に花を咲かせた後、夏には早くも花序（複数の花が集団をなしているもの）を準備し始めます。秋に果実を実らせ、冬が来るとすぐに花を咲かせることができるほどの状態になります。

陶史の森には紅色の釣り鐘型の花を咲かせるアケボノアセビ（ベニバナアセビ）もあります。3月上旬から陶史の森の道沿いにアセビの白い花の花序とアケボノアセビの紅色の花の花序が垂れ下って開花する様子は、陶史の森の春の到来を鮮やかに伝えているようです。



アセビの花（花序）



アセビの樹木



アケボノアセビの花（花序）

森	の
日	記

陶史の森の植物保護にご協力をお願いします

陶史の森でも春になると多くの植物が芽吹き、花を咲かせます。陶史の森は湿地のため、他の地域とは異なる希少な植物も多くあります。（写真右下は、春先に開花するハルリンドウの群生です）

これからも大切な植物を守り続けていきたいと思えます。植物採集や立入禁止地域への侵入などは控えてください。ご協力をお願いします。



▲ 湿地への立ち入り禁止



▲ ハルリンドウの群生

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。

教室のご案内

2月

●バードウォッチング

（要申込 定員10人）

2月27日（日） 午前9時～11時

雨天中止

早春の野鳥を観察します。

3月

●バードウォッチング

（要申込 定員10人）

3月27日（日） 午前9時～11時

雨天中止

春の野鳥を観察します。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。